

## ホームステイ～はじめての一步は BBQ 交流から～

10月8日（土）から9日（日）にかけて、JICA（国際協力機構）の研修生11名を迎えてホームステイの受け入れを行いました。8日は希望の家でBBQ。全てのホスト家族とゲスト達が交流し、日本流のBBQとファイヤーショー（下記事参照）を楽しみました。翌9日は、地元のお祭りに参加したり、近くのお寺巡りをしたり、皆さん楽しく過ごせたようです。帰りに岩倉駅に集合した時には、競うように手紙や写真を見せ合い、どんなに楽しかったかを話し合っていました。▲ BBQの様子。みんなで一緒に、イエーイ！ご参加いただいたホスト家族の皆さん、本当にありがとうございました。



▲マディーハとホスト家族のYさん

《ホスト家族のYさんより》

我が家に来てくれたマディーハはイスラム教徒のため、食事に厳しい制限があり大変でしたが、そのことで異文化を勉強でき、良かったです。また、私の英語は日常会話がなんとかできるレベルで、主人は全く話せない状態でしたが、子どもたちはマディーハとコミュニケーションをとりたがり、簡単な質問にはYes、Noで答えられるのも楽しかったようで、子どもにとっても、とても良い経験になったと思います。

## ファイヤーショー～幻想的な火の舞で参加者の心がひとつに～

BBQを楽しんだ後は、国内外各地で活躍されるファイヤーダンサー集団、プロジェクト・アグニの代表のコン・スチョルさんによるファイヤーショーを楽しみました。

子どもも大人も待ちこがれる中、突然炎が舞いあがり、その炎と共に全身をくゆらせて踊りが始まりました。暗闇の中に燃え上がる炎は時に小さく、時に大きく立ち上り、そのたびに観客から歓声が上がりました。ダンスと



ともにコンさんの軽妙な日本語と英語の語りに、

JICAの研修生たちも喜んで拍手を送っていました。ショーの後は、子どもたちにパフォーマンスの手ほどきをしていただき、皆とても楽しそうでした。

◀ショーの後、コンさんからパフォーマンスの方法を教えてくださいました。



▲ファイヤーショーの様子。幻想的な光景に皆の視線が釘付けに。

## 世界のお惣菜～カナダ編～

10月29日（土）生涯学習センターにて開催しました。今回は、岩倉市国際交流員であるダスティンさんを講師に迎え、カナダの家庭料理であるチキンヌードルスープ、バナナブレッド、ファヒータを教えてくださいました。ファヒータとは、トルティーヤの皮に好きな具材を入れて巻いたものです。ダスティンさんは時に冗談を交えながら、分かりやすく教えてくださいました。楽しく作り、おいしくできた料理をいただき、参加者からは大好評でした。終了後に参加者から感想をいただきましたので、その一部をご紹介します。



▲和やかな雰囲気の中、ダスティンさんは、楽しく教えてくださいました。



▲楽しく、おいしくいただきました。

《感想》

・今回作った料理はどれもおいしかった。家にある材料でできるので、また作ってみたい。  
・料理教室（世界のお惣菜）は雰囲気がとても良く、参加者同士の会話もはずんで楽しかった。



▲ときには、こんなポーズも

・お腹いっぱいになり、心もお腹も大満足でした。

## ふれ愛まつり～今年も大好評でした～

11月12日（土）、13日（日）に総合体育文化センターで開催された、いわくら市民ふれ愛まつりで、昨年好評だったチヂミを中心に、中学生海外派遣でおなじみのモンゴルのお菓子やミルクティーなどを販売しました。昨年の好評ぶりを来場者の皆さんが覚えてくださっており、まつり開始と同時にブースは大盛況。あまりの好評ぶりにチヂミが間に合わず、残念ながら諦めて帰られる方もいらっしゃいました。また、そのおいしさを家庭でまた楽しみたいとの



▲まつり開始と同時に大盛況!!



▲来場者と交流を深めました。

思いから、レシピを教えてくださいたいという方もいらっしゃいました。ブースは絶えず好評で、13日にはまつり終了30分前に用意していた全ての品が完売してしまいました。天気にも恵まれ、またおいしいチヂミに舌鼓を打ちながら来場者と交流でき、非常に有意義な2日間となりました。ご来場いただきました皆さん、ありがとうございました。



▲大好評だったチヂミ

## 「日本語ひろば岩倉」のスタッフになって

ボランティアスタッフとして通い始めてから数か月が経ちました。私は、日本語教師をめざして勉強を始めたばかりの20代の主婦です。実際に外国人学習者達に向き合ってみると、地域のボランティアに求められるのは、特別な知識や資格よりも、まず、目の前の学習者と何とか



▲教室で学ぶ学習者

コミュニケーションを取ろうという意欲を持つことだと強く感じました。教室では、担当する学習者が前回と代わったり、初めて訪ねて来た人と自己紹介の練習をすることもあります。始めは戸惑いもありましたが、そうして様々な国や地域の人達とお話している中で、文化や習慣の違いなど新鮮な話題に触れられるのが楽しみになってきました。学習者は、長年日本に住んでいる人も、研修生のような短期滞在の人も、それ

ぞれ日本語を使う機会が少なく、職場に日本人がいても仕事に必要な言葉しか交わさないことが多いため、日本人と日常会話をする機会は、ほとんどないようです。そういう人達にとって、少しでも日本語学習の助けになれば良いなという気持ちを持ちながら、これからも自分のできる限りのボランティアを続けていこうと考えています。(小川 千裕)

### 日本語ひろば岩倉

日時：原則第1～4水曜日  
午後7時30分～午後9時  
場所：生涯学習センター  
第3・4会議室  
連絡先：桜井(090-8320-9591)

## 新企画！ うえるかむ to Iwakura!! vol. 1

岩倉を歩いていると、多くの外国の方を見かけます。「どこの国の方なんだろう。」「何しに日本へ、岩倉へ来たんだろう。」と、少し気になります。そこで、新企画『うえるかむ to Iwakura!!』を今号からスタートし、岩倉に住む外国の方からお話を伺っていきます。第1回は、制服姿で自転車をこぐ、かわいらしい高校生にインタビューしました。彼女は、イタリアから来た17歳で、名前をテレサ・ロルツ (Teresa Lorusso) と言います。現在、岩倉総合高校に通っています。

編集者(以下「編」): いつ日本に来たの?

テレサ(以下「テ」): 今年の8月に来ました。

編: なぜ日本へ来たの?

テ: もともと日本が大好きで、もっと日本の文化や伝統を知りたいと思い、来日しました。

そして日本で生活する中で、文化に触れながら日本語の勉強をしたいと思っています。

編: なぜ、岩倉へ来たの?

テ: ホストファミリーが、岩倉に住んでいたからです。

編: 岩倉はどう?

テ: 岩倉の方々は本当に優しく、アットホーム

で、とても心地良いです。みんなとても親切で感謝しています。

編: 将来の夢は?

テ: 毎日を人生で1番の日にするのと、日本語やヨーロッパの言語を学び、有名な航空会社の客室乗務員になることです。

編: インタビューに答えてくれてありがとう。テレサにとって最高の1年にしてね。

▶テレサ・ロルツさん。  
インタビューに笑顔で答えてくれました。



## 募集コーナー

### クリスマスソングで交流を～三カ国語で歌おう！～

岩倉市国際交流員のダスティンさん（カナダ出身）と一緒に英語、日本語、ポルトガル語でクリスマスソングを歌ってみませんか。クリスマスカラーの赤、緑、白（例えば赤のセーター、緑のマフラーなど）を身につけて、気楽な雰囲気ですぐクリスマスを楽しみましょう。

日 時：12月11日（日）午後6時30分～午後8時00分

場 所：生涯学習センター スタジオ1

定 員：40名

材料費：会員無料、非会員100円

申込・問合せ先：杉浦（0587-37-9191）



### ブオン ナターレ

### Buon Natale!! ～イタリアのクリスマスを教えて～

イタリアからの留学生、テレサ・ロルツォさんにイタリアなクリスマスの過ごし方を紹介していただきます。現在、日本語猛特訓中ですが、明るくお茶目なテレサさんと楽しいひとときを過ごしませんか。ぜひ、皆さんもご参加ください。

日 時：12月17日（土）午後1時30分～午後3時30分（受付は午後1時から）

場 所：生涯学習センター 料理室

定 員：20名

材料費：会員無料、非会員300円

持ち物：エプロン、タオル

申込・問合せ先：杉浦（0587-37-9191）



### ホストファミリーになってみませんか

協会では、年3回、海外からのゲストをお招きし、1泊2日で土曜日の午後から日曜日の夕方までのホームステイを行っています。このゲストをお引き受け下さるホストファミリーを募集しています。ゲストは主にJICAの研修生と名古屋芸術大学の留学生の皆さんです。ホストファミリーになるには、いろいろな国の人と友達になりたい、そんな気持ちさえあれば大丈夫です。きっと楽しい異文化体験と出会いが待っていますよ。

本年度の予定 2月中旬 名古屋芸術大学の留学生の受け入れが決まっています。

問合せ先：井上（0587-66-3192）

### 「ピナトゥボ」での地域ボランティア

協会では、フィリピンのパンパンガ州フロリダブランカの小中学校で、日本の紹介をしたり、現地の子どもたちと交流したりするボランティアを募集しています。

応募資格・人数：大学生以上・1名（協会の会員であること）。英語が話せることが望ましい。

期 間：平成29年2月～3月の間の2週間から1か月程度

費 用：航空運賃の半額と現地でのボランティア活動に必要な経費は協会が負担。

現地では、ホームステイです（協会があっせんします）。

問合せ先：内藤（0587-66-7347）

会 報	COM第89号（2016年12月1日）	事務局	〒482-0021	岩倉市新柳町3-21-2（内藤方）
発 行	岩倉市国際交流協会			TEL・FAX 0587-66-7347
印 刷	大橋印刷所			http://www.iies.info/